

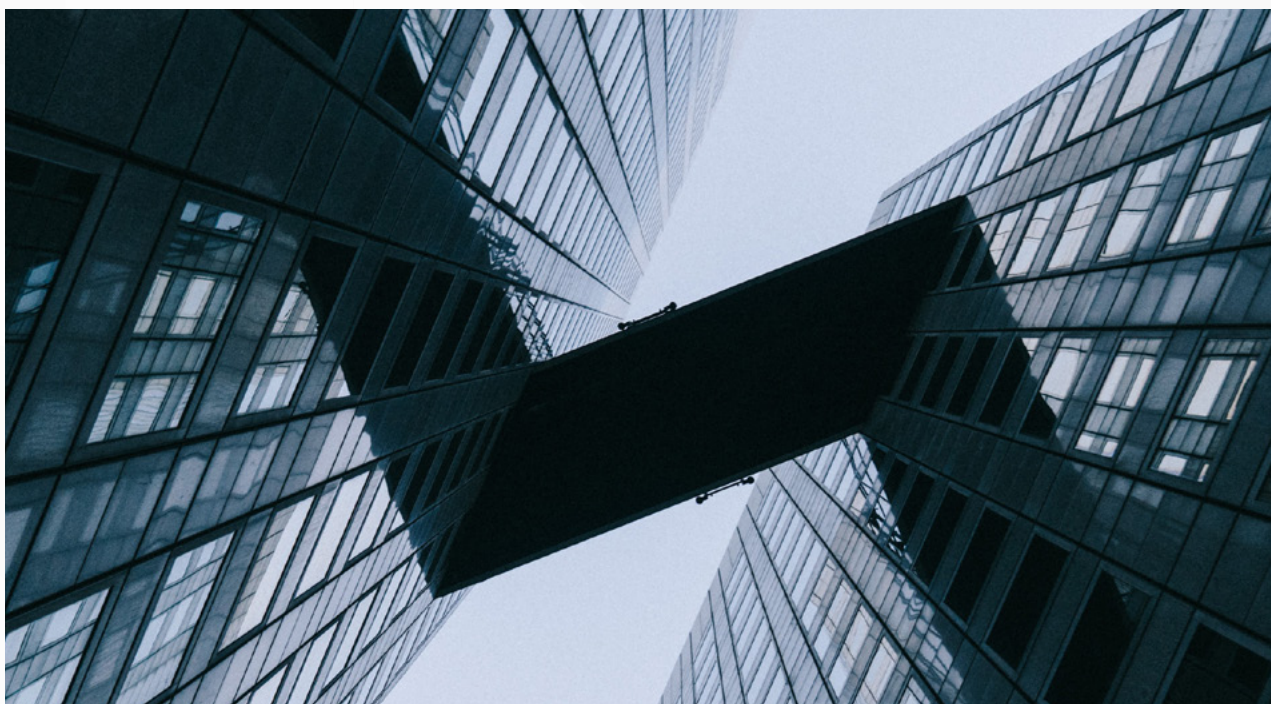


# コネクタを活用して 翻訳効率をアップ

RWS® Language Cloud

## 目次

はじめに .....	3
コネクタとは .....	4
コネクタの種類と、ビジネスに最適なコネクタ .....	6
コネクタの開発アプローチ .....	8
RWS Language Cloud .....	9
RWS Language Cloud API の使い方 .....	10
将来のコネクタ .....	11
サポートされるコネクタ .....	12



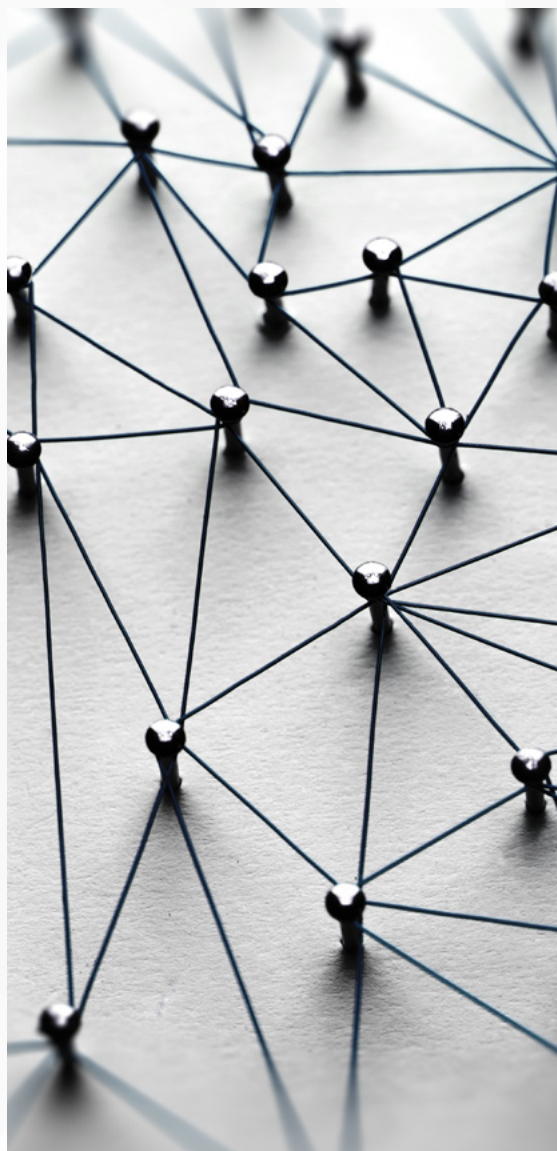
## はじめに

多くの企業はさまざまなテクノロジーを利用してコンテンツの作成や配信を行っています。このコンテンツを世界中の顧客向けに翻訳するには、より効率的でコスト効果の高い自動化されたソリューションが必要になります。

分断されたシステムを使用していると、コンテンツを翻訳に出す作業は手動で行われ、時間がかかるため、市場投入期間や顧客満足度に悪影響を及ぼすことがあります。コンテンツ管理システムと翻訳管理システムをコネクタで接続すれば、コンテンツの翻訳プロセスが一気に加速され、より俊敏かつ効率的になります。

企業は現在、ビジネス全体で作成、管理、発行するあらゆるコンテンツのために多数のツールやプラットフォームを導入する傾向にあります。従来のビジネス促進要因、部門別の購買決定、レガシーシステムのすべてが多数のシステムの導入につながり、さまざまな企業に多種多様な技術アーキテクチャが無限に存在する状況になっています。

このため、RWS はお客様のニーズに応じて 50 以上のさまざまなコネクタを提供しています。全社の各システムを連携させ、e コマース / PIM、ウェブサイト、ユーザードキュメント、サポートチケット、ライブチャットのコンテンツをすべて RWS の翻訳サービスや翻訳テクノロジーに接続します。これにより、お客様はビジネス全体のコンテンツ管理を自動化できます。



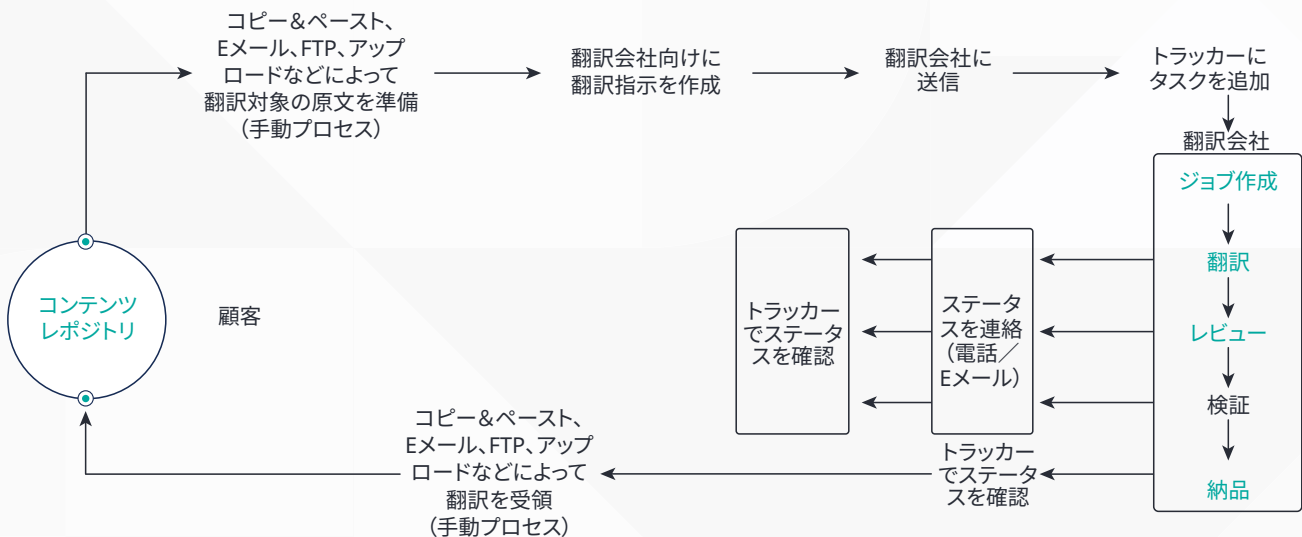


## コネクタとは

コネクタは、手作業を減らし、効率を高めるためのツールです。コネクタを使用しない場合、コンテンツの制作と管理を行っている場所（一般にコンテンツ管理システム（CMS）、製品情報管理（PIM）システム、コンテンツレポジトリなど）から手動でコンテンツを選択して翻訳会社（LSP）に送信するのに毎日膨大な手間をかけることになります。

送信の方法は原文の保存場所によって異なりますが、ファイルのエクスポート、翻訳可能な文書へのコンテンツの手動コピー＆ペースト、Eメール、FTPやベンダー固有のツールへのアップロードなどがあります。コンテンツを送信したら、指示を作成してLSPにハンドオフし、タスクをトラッキングシートで管理する必要があります。コンテンツは翻訳されると、このプロセス全体を逆戻りして元のシステムに返されます。

### コネクタなしのワークフロー：手動プロセス



こうした手動のステップでは、プロセスで余計な手間が発生し、ユーザーはさまざまなツールやUIを使用する必要に迫られ、従業員は手作業の繰り返しで貴重な時間を奪われて不満を抱くようになります。大量の手作業に依存しているプロセスでは、エラーが生じる危険性が高い確率で常に存在します。

たとえば、以下のような問題が起こる可能性があります。

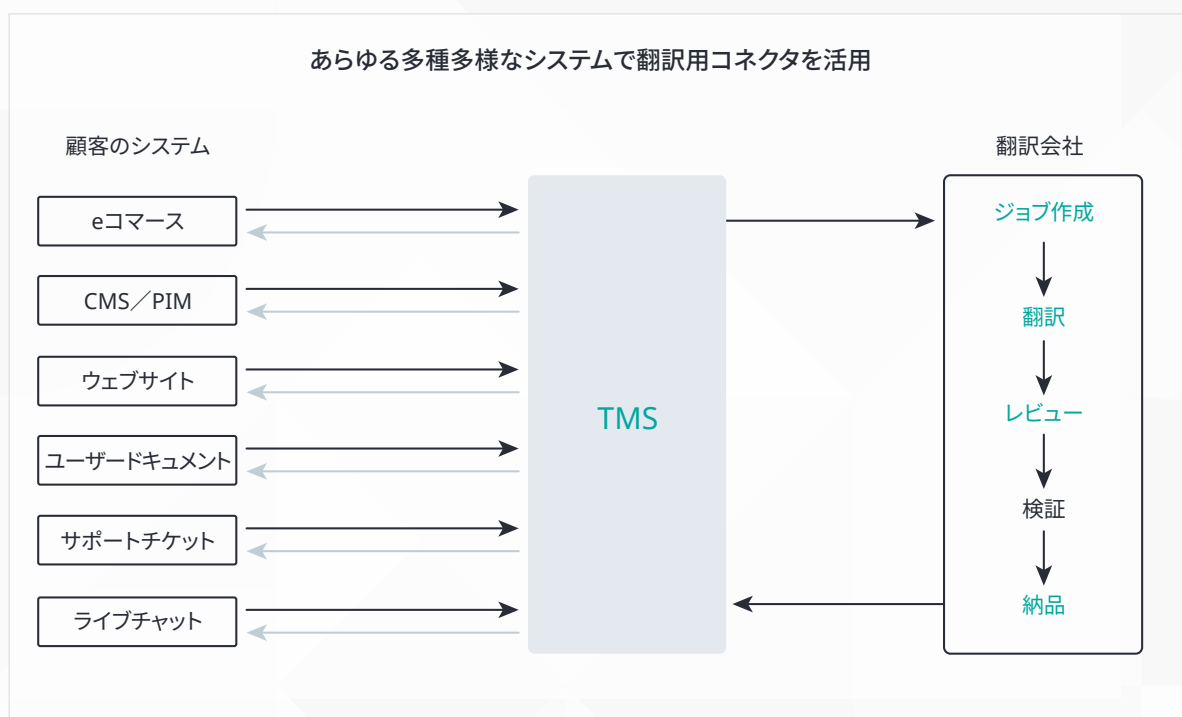
- 翻訳の遅延や欠落により、海外市場での製品展開やインターネット検索結果に影響が出る
- ハンドオフや配信でファイルが欠落する
- ファイルのエラーにより、すべての言語で修正が必要になる
- レビュー中にレビューアの1人が作業を完了できない

## コネクタを活用して翻訳効率をアップ



RWSのコネクタを使用すると、そうした懸念がなくなり、ユーザーはより重要な作業に専念でき、プロセスは制御されてリスクが排除されます。コネクタは、サードパーティのツールに組み込まれているか、[RWS Language Cloud Translation Management](#) のカスタマーポータルに標準で統合されています。

ユーザーはコンテンツをあらゆる管理場所から選択して、翻訳ジョブを簡単に作成することができます。ジョブがRWS Language Cloud に渡されると、システム内でコンテンツが翻訳・管理されます。翻訳プロセスが完了したら、翻訳は自動的に原文コンテンツレポジトリに返されます。

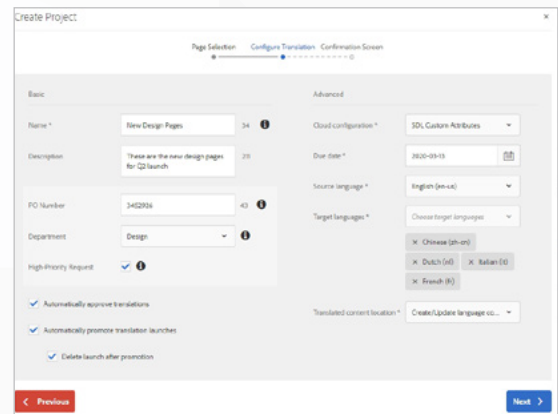


## コネクタの種類と、ビジネスに最適なコネクタ

RWS は次の 3 種類のコネクタを提供しています。

### 1 Push コネクタ

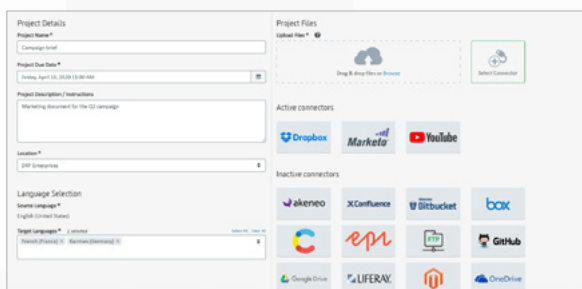
機能豊富な RWS の統合ソリューションは、顧客のコンテンツエコシステムに搭載可能です。ユーザーは軽量の翻訳プロジェクト管理機能を利用して引き続き快適なコンテンツ環境で作業できます。顧客の既存のテクノロジーに組み込まれ、ファイルやデータをコンテンツシステムから RWS Language Cloud にプッシュすることから、「Push コネクタ」とよく呼ばれています。



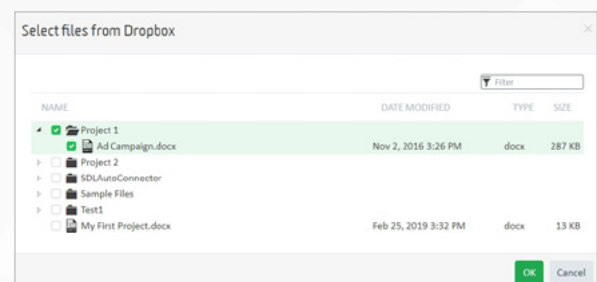
Adobe Experience Manager (AEM) 内で簡単な項目をいくつか入力し、RWS Language Cloud Translation Management に自動で送信することで、翻訳プロジェクトを簡単に作成できます。

### 2 Pull コネクタ

RWS のコネクタは使いやすく、RWS Language Cloud のコネクタフレームワークの一部としてすばやく導入してインストールできます。ユーザーは翻訳プロジェクトを作成してコンテンツレポジトリから翻訳対象のコンテンツを選択できます。その後「Pull コネクタ」を使用すると、コンテンツやデータがコンテンツシステムから RWS Language Cloud に「プル」されます。



RWS Language Cloud Translation Management でプロジェクトを作成すると、すでに多くの Pull コネクタが標準で利用可能になっています。コネクタは必要に応じて追加作成し、設定できます。



コネクタを設定すると、ユーザーは Dropbox ファイルを表示し、RWS Language Cloud Translation Management プロジェクトに容易に選択できます。



## コネクタの開発アプローチ

RWS は、テクノロジーに対して API 重視のアプローチを採用しています。つまり、ユーザーインターフェイスや社内プラットフォームのすべての機能に API（アプリケーションプログラミングインターフェイス）が使用されており、開発者は翻訳ジョブの作成、ステータスの問い合わせ、翻訳の納品を行うことができます。

RWS は、独自のコネクタを作成したい顧客やサードパーティツールプロバイダもサポートしています。次のような場合にコネクタのカスタマイズが必要になります。

- 顧客の固有の要件
- 専用のコンテンツレポジトリ
- 旧式のコンテンツ管理システム

上記のような場合、顧客社内開発チーム、システムインテグレータ（SI）、ツールプロバイダなどは RWS のテクノロジーとの統合を独自に維持しています。RWS は、開発作業を支援するために、関連ドキュメントや、専門知識を持つエキスパート（SME）のサポートを提供しています。

また、顧客、SI / ツールプロバイダ、RWS のエンジニアで構成される混合チームによる開発アプローチも提供しています。顧客やツールプロバイダは一般にツールのデータ、UI、開発環境について十分理解しており、RWS は翻訳用のコネクタを開発するための API とベストプラクティスを理解しているため、これは特に功を奏します。

極めて複雑な環境や要件に対しては、RWS は上級の SME によるサポートを提供し、顧客およびプロバイダと連携して個々のコンテンツエコシステムに合わせて統合ソリューションを設計します。たとえば、異種システム内のコンテンツの特定、ベストプラクティスの推奨、データフローやプロセスに合わせた設計などを行います。





## RWS Language Cloud

RWS Language Cloud では、翻訳プロジェクトの作成、選択したオプションの使用、ファイルや訳文言語の選択が必要な場合にオープン RestAPI を使用します。この機能豊富な API では、ダッシュボードの作成、翻訳プロジェクトの詳細、タスクのステータスなど多くの拡張機能を実行できます。

RWS の API のユーザーには、次の 3 つのパターンがあります。

- RWS Language Cloud Translation Management などの製品を開発する RWS の社内開発チームやパートナー。
- 独自のプラットフォームにローカリゼーション機能を内蔵したり RWS への直接リンクを組み込んだりしたい外部コンテンツプラットフォーム所有者。
- コンテンツプラットフォームのカスタムソリューション、または特定の課題の解決を希望するお客様やそのパートナー。API ドキュメントに加え、開発者はあらゆる機能を実行可能なプラットフォームサンドボックス内で作業できます。RWS は、さまざまな顧客ユースケース要件を満たすためのベストプラクティス、サンプルアプリ、ガイダンスによって開発者をサポートしています。



## RWS Language Cloud API の使い方

プロジェクトの作成から完了までのライフサイクル全体をたどり、RWS の API に関する理解を深めましょう。



### ステップ 1：認証

API へのすべてのリクエストでアクセストークンが必要になります。最も一般的なトークン取得方法は、エンドポイントにログインすることです。



### ステップ 2：プロジェクトを作成する

プロジェクトを作成するには、利用可能なオプションを見つけ、翻訳対象ファイルをアップロードします。プロジェクト作成オプションは、言語ペアやファイル形式を選択する場合に特に便利です。



### ステップ 3：プロジェクトを追跡する

作成したプロジェクトは、エンドポイントにリクエストすることで追跡できます。その他のプロジェクト（以前に完了したプロジェクトや特定のステータスのプロジェクトなど）に関する情報は、異なるエンドポイントオプションを使用することで取得できます。



### ステップ 4：プロジェクトを承認し、翻訳済みファイルをダウンロードする

追跡リクエストで「承認待ち」ステータスが表示されたら、エンドポイントを使用してプロジェクトを承認できます。1つまたはすべてのファイルが「ダウンロード可能」ステータスになるまでプロジェクトを追跡し続け、ファイルを個々にダウンロードするか、すべてのファイルを ZIP ファイルに圧縮して一括でダウンロードします。



### ステップ 5：ファイルを完了としてマークする

すべてのファイルをダウンロードすると、「削除」エンドポイントリクエストでファイルをキャンセルしたり完了したりできます。

API のコンテンツについて詳しくは、[こちら](#)をご参照ください。以下に、プロジェクトの作成から完了まで（上記のステップ 1～5）で使用される可能性のある API 呼び出しを挙げます。

## 将来のコネクタ

コネクタに対する企業からの需要はますます高まっています。一部の企業は、過去の購入決定により、複数のコネクタを必要とするシステムを多数抱えています。一方で、1つのプラットフォームに統合すればメンテナンスやサブスクリプションのコストを効率的に抑えられると気付いている企業もあります。

市場において統合が進むことで、コネクタの状況も変化しつつあります。Adobe Experience Manager (AEM)、Marketo、Magentaなどの製品を所有しているAdobeのような企業は、これらのシステムに対応するために、コネクタを求めるようになっています。

コネクタは多くのユースケースをサポートする必要があるため、RWSは継続的に各ソリューションをお客様の要件に照らして検討し、強化しています。多くの企業は既存のコンテンツシステムを使用して従来の方で翻訳プロジェクトを作成・管理したいと考えています。それ以外の企業に、RWSはコンテンツトリガーとAIを組み合わせることでゼロタッチの自動プロジェクト作成機能を提供しています。

業界最大手の言語サービス・翻訳テクノロジープロバイダであるRWSは、総合的なアプローチでコネクタと統合に投資し続け、お客様にビジネスの俊敏性と安心感を提供します。



## サポートされるコネクタ

RWS は、ここ数年さまざまな翻訳管理システム (TMS) テクノロジーの開発と買収を手掛け、現在は最高の機能を単一プラットフォームの RWS Language Cloud に統合することに取り組んでいます。

RWS のコネクタや統合は RWS のあらゆる TMS ソリューションをサポートします。詳しくは、以下の表をご参照ください。

### コンテンツレポジトリコネクタ

### サポートされている翻訳管理製品

Adobe Experience Manager	RWS Language Cloud Translation Management WorldServer
Akeneo	RWS Language Cloud Translation Management
Amazon S3	RWS Language Cloud Translation Management
Aprimo	RWS Language Cloud Translation Management
Box	RWS Language Cloud Translation Management
ContentFul	RWS Language Cloud Translation Management
Dropbox	RWS Language Cloud Translation Management
Drupal 8	WorldServer Managed Translation
FTP	RWS Language Cloud Translation Management
Google Drive	RWS Language Cloud Translation Management
Magento	RWS Language Cloud Translation Management
Marketo	RWS Language Cloud Translation Management



## コネクタを活用して翻訳効率をアップ

OneDrive for Business	RWS Language Cloud Translation Management
OneDrive Personal	RWS Language Cloud Translation Management
Salesforce Commerce Cloud	RWS Language Cloud Translation Management
Salesforce Knowledge	WorldServer Managed Translation
Salesforce Marketing Cloud	RWS Language Cloud Translation Management
Tridion	RWS Language Cloud Translation Management WorldServer
Shopify	RWS Language Cloud Translation Management
Sitecore	RWS Language Cloud Translation Management
Umbraco	WorldServer Managed Translation
Veeva Vault	RWS Language Cloud Translation Management
Workfront	RWS Language Cloud Translation Management
YouTube	RWS Language Cloud Translation Management
Zendesk	RWS Language Cloud Translation Management

サードパーティのコネクタもサポートされます。ご要望に応じてカスタムコネクタも作成いたします。

詳しくは以下をご覧ください

[rws.com/jp/languagecloud](https://rws.com/jp/languagecloud)

### RWS について

RWS Holdings plc は、テクノロジーを駆使した翻訳サービス、コンテンツ管理サービス、知的財産サービスを提供するリーディングプロバイダです。RWS は、ビジネスに不可欠なコンテンツを大規模に配信し、イノベーションの保護と実現を可能にすることで、お客様が世界中の人々とつながり、新たなアイデアを提供することを支援します。

私たちのビジョンは、グローバルインテリジェンス、深い専門知識、スマートなテクノロジーを通じて、言語、コンテンツ、市場参加における課題を解決することにより、世界中の人々と組織をつなぐ橋渡しをすることです。

当社の顧客には、グローバルブランド上位 100 社のうちの 90 社、製薬会社上位 10 社、世界中の大手特許事務所 20 社のおよそ半数が含まれています。また、クライアントベースは、ヨーロッパ、アジア太平洋、北南米に広がり、テクノロジー、製薬、医療、法律、化学、自動車、行政機関、電気通信の各分野を網羅しており、5 つの大陸に複数のオフィスを構えています。

1958 年に設立された RWS は、英国に本社を置き、AIM、ロンドン証券取引所規制市場に上場されています (RWS.L)。

詳細については、[www.rws.com/jp](https://www.rws.com/jp) をご覧ください。

© All Rights Reserved. ここに記載されている情報は、RWS Group\* の機密情報および専有情報とみなされます。

\* RWS Group とは、RWS Holdings PLC およびその関連会社および子会社の代表を意味します。